

赤字 : 1.1版 からの変更・追加

競技規定

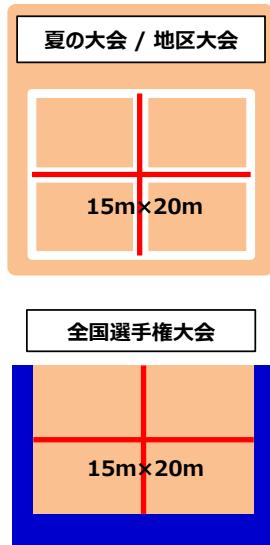
1. 演技内容

- 1) 演技内容は大会参加指針に沿って、適切であるかを見極めること
- 2) 振付・演出・使用楽曲は、スポーツシーンに合った内容で行われ、演技はすべての観客のために適切かつエンターテイメント性に富んでなければならない
下記の内容に該当する、構成や振付は禁止とする
 - ① 振り付けにおいて紛争や抗争をイメージさせる内容
 - ② 人を威嚇するジェスチャー
 - ③ 不快感を与える演出やメイクアップ
 - ④ 不適切な歌詞やスラングの入った楽曲
 - ⑤ 違法ダウンロードによる楽曲（音楽プロバイダーのサンプル楽曲含む）
- 3) 使用楽曲は事前に歌詞内容・訳詞内容が適切であるか確認をすること
大会当日に大会運営側から使用楽曲の歌詞内容について確認要請があった場合には、
その場で歌詞内容を確認できる資料（外国語の場合は、訳詞・原文の両方）を提出する必要がある
- 4) その他の演技内容については編成・部門毎に内容が異なるため、必ず『演技規定』に沿って演技構成を行うこと

2. 演技フロア

- 1) 奥行15m×幅20mとする（フロアの仕様については、下記及び右記図参照）

【夏の大会 / 地区大会】フロア枠（白枠）と縦横の中央に白、赤のラインを引く
【全国選手権大会】フロアはページュのスポーツコート内とし、縦横の中央に赤のラインを引く
- 2) 床の素材：原則、各体育館の床（全国選手権大会に限りスポーツコートを導入）
- 3) 演技に無関係なアイテムの演技フロアへの持ち込みは禁止
(Spiritleading部門のフロア置き道具などは除く)
【例】チームのぬいぐるみ、手具として使用しない小道具など
- 4) メンバー全員で演技フロアに入場し、演技中の出入りは禁止
- 5) 手具・大道具は全て演技フロア内に設置すること
(使い終わった手具を投げ、演技フロア外に出るのは構わない)
- 6) 演技者以外のフロアへの立ち入り、及び演技者以外が演技に関わる行為は禁止
【例】演技者以外の手具・大道具の設置補助や選手への指示出しなど



3. 演技時間・計測方法・入退場

- 1) 演技時間は各演技規定参照
- 2) 計測方法は、音楽または動作の開始をもって開始し、音楽・動作の両方の完了をもって終了とする
- 3) チーム名が読み上げられたらメンバー全員で速やかにフロアに入場し、また退場も速やかに行うこと

4. 衣装・身だしなみ

- 1) 衣装・メイクアップは、年齢に相応で全ての観客に対し適切であること
- 2) 短い丈のパンツ（一分丈）を衣装とする場合は、必ずタイツを着用すること
- 3) 男性は、シャツ（ノースリーブ可）を着用するか、前面のボタン・ファスナーをしめること
- 4) 中学校・高校チームは、直立（腕を下ろした）姿勢時に腹部まで覆われた衣装を着用すること
出場部門（全競技部門、審査対象外部部門も含む）に関わらず、このルールは適用される（大学チーム以外）
- 5) 上記の他に、Song/Pom部門、Song/Pom Dance部門は、衣装に規定があるので <演技規定> を参照すること
- 6) 履物は、Song/Pom部門に限り足裏全部を覆っているものを着用すること。その他の部門は自由とする
全ての部門で、靴下やタイツのみ、または床を傷つける恐れがある履物は禁止
- 7) 衣装の一部としてのアクセサリーは装着可。但し、肌や床を傷つける危険があるものは禁止
- 8) 全ての衣装は安全でなければならない。演技中に脱げてしまう、落下するなどがないようにすること

5. 演技順の変更・演技の中止

※演技順の変更...大会当日、演技開始前に演技順を変更すること

※演技の中止 ...「演技の開始」（音楽、または動作の開始）後に演技が止まること

1) 主催者は安全性や大会運営に支障があると判断した場合、演技順の変更および演技を中断する権利を持っている

2) 演技順の変更・演技の中止は原因によりそれぞれ下記の扱いとする。すべての判断は主催者が行う

①不測の事態及び傷病によるトラブル

音響機材や施設の不備等、チーム起因ではない不測の事態の発生、及び傷病者の発生などのトラブル

a. 予定時間に演技が開始できなかった場合...チームは演技順の変更の申請が可能

b. 演技が中断した、または妨げられた場合...チームは再演技の申請が可能

再演技は予定の内容を1曲通して行うこと。ただし審査は主催者によって決定された

演技中断以降の部分のみが対象となる。演技中断前の審査内容はすべて反映される

原則、演技は開始からすべてのスキルを実施しなくてはならないが、すべてのスキルが行えなかった場合、

そのチームの得点をどのように取り扱うかについては主催者によって決定される

②チームの責任によるトラブル

道具・衣装・音源の不備やチームの責任によるトラブル

a. 予定時間に演技が開始できなかった場合...棄権、もしくは減点が課せられた上でチームは演技順の変更の申請が可能

b. 演技が中断した、または妨げられた場合...棄権、もしくは減点が課せられた上でチームは再演技の申請が可能
再演技の審査は1度審査した内容は破棄され、改めて1曲通しての審査となる

3) チーム代表者（音響担当者）は演技中に続行が不可能と判断した場合、音響席にある旗を揚げることで

演技を中断する事ができるが、この場合は棄権とみなす。（ただし主催者の判断によりこの限りではない）

4) 全ての審査が完了しない場合（得点算出不可）は審査対象外となる